

WHO ファクトシート

保健医療廃棄物

Health-care waste

ファクトシート No. 253

2015 年 11 月

重要な事実

- ・保健医療活動から出る廃棄物のうち、約 85%は一般の有害でないゴミである。
- ・残り 15%は、感染性、有害性あるいは放射性などの有害な物質として扱う必要がある。
- ・毎年世界的に約 160 億本の注射が行われているが、全ての注射針やシリンジが使用後に適切に廃棄されているとは限らない。
- ・保健医療廃棄物には、潜在的有害性をもった微生物が含まれており、入院患者や医療従事者そして一般市民に感染する可能性がある。
- ・ある状況下で保健医療廃棄物が焼却されると、ダイオキシン、フランその他有害な大気汚染物質が排出物として生成されることがある。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Health-care waste ファクトシート原文は [こちら](#)